1. 東京体育館

【一次評価結果】

資料4

合計点	一次評価結果
43点	A

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	46点以上
34点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体においては、借入金が存在せず、業務の見直しによりようやく黒字化した公的機関であることから問題はないであろう。構成団体は㈱オーエンスについては問題は見られないが、㈱ティップネスについては、債務超過状況は続いており懸念は存在する。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(4) 事業団、オーエンス、ティップネスの各社で事業計画書に基づく人員配置を行い、必要な資格者を適切に配置している。研修では日常業務におけるOJTをはじめ、接遇、文書、会計、救命救急などを実施している。その結果、利用者アンケートにおいて、「職員の対応」の「十分満足」+「まあ満足」の割合は、個人利用で91.5%、専用利用(団体)で95.3%となっている。 (5) 令和7年度分優先受付調整においては、世界陸上・デフリンピックに加え、大型映像装置更新工事により約5か月間にわたって利用ができない期間がある中で、都事業を含む多くの利用申し込みについて、利用者懇談会での周知や申込時の相談対応等を丁寧かつ適切に行い、世界フィギュアスケート国別対抗戦やグラウンドスラム東京、春高バレーなど数多くの国際大会や全国大会等の予約を入れた。 令和6年度のメインアリーナ稼働率は99.5%であった。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	◎	
(5) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 省エネルギー環境配慮への取組として、「行事打合せ表」のスケジュールと実際の進行状況に合わせて照明等のオンオフを実施している。監視室内の監視カメラによりアリーナ利用状況、及び機械監視画面の室温等を確認して無駄のない空調管理を行っている。 (4) 各種法令等は共有フォルダに保存し、職員が閲覧できるようにしており、総務担当が規程類の更新・整備を行っている。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(3) 令和6年8月の100ミリを超える記録的短時間集中豪雨により、館内が広範囲で足首ほどの高さまで浸水した。自然災害であり、施設の立地や構造上の問題による不可抗力のものであった。被害が大きかったトレーニングルーム、スタジオ、屋内プールは2日強の休館となったが、排水・清掃作業、エレベーター等の復旧・点検を迅速に実施したことで、利用者への影響を最小限に抑え、速やかに施設運営を再開できた。最も被害が大きかった健康体力相談室は浸水被害により諸室及び一部の機器が使用不能となり、年度内の再開が危ぶまれたが、電気工事や床材交換など計画的な諸室復旧を行い、本年3月に部分再開できた(本年6月に使用不能機器の入れ替えが完了し、全面再開。)
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	◎	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	△	(1) 事業計画に基づき適切に執行しているが、指定管理者業務収支としてマイナスとなってしまった。 (3) 物品管理一覧表には、備品の名称、管理番号、規格、設置場所、確認日等の情報が記載されている。都が所有する備品には、管理番号を記載したラベルが貼付けられ、物品管理一覧表より管理されている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	◎	(1) トレーニングルーム・屋内プールの障害者利用者数(付添者含む)は、令和5年度38,711人から令和6年度42,839人に増加した。メインアリーナ・サブアリーナの稼働率は99%以上である。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(4) 令和6年度アンケートの総合満足度は(十分満足+まあ満足)、個人利用が96.4%、団体利用が95.4%であり、高い満足度を得ている。 利用者懇談会の実施後は、議事録や利用団体の意見等を集約した資料を作成し、内部にて共有している。また、メインアリーナやサブアリーナなどの団体利用においては、使用中や使用後に次回使用に向けた要望や課題点を直接伺い、いただいた意見は懇談会等と合わせて内部協議や必要に応じて東京都へ報告し、施設運営や事業計画に反映している。 (5) 館内POPには外国語表記を併記、車いす対応更衣室に、車いす対応トイレの点字案内板を設置、ドライヤーと水着脱水機を設置する等、多様な利用者に対応するための環境整備に積極的に取り組んでいる。こうした取組もあり、個人利用のトレーニングルーム・屋内プールの障害者利用者数(付添者含む)は、令和5年度38,711人から令和6年度42,839人に増加している。 (8) イベント時の国立競技場との連携や神宮外苑一体の情報共有会などに加え、渋谷区と連携して屋内プールで渋谷オーブンスイムタイムトライアルを初開催し、周辺関係団体との連携を強化している。 令和7年度に開催する世界陸上及びデフリンピックに伴う数多くの現地視察や打合せ等に対応している。スポーツの日記念事業において、世界陸上及びデフリンピックの令和7年度開催に向けた告知、デフスポーツの体験(スタートランブ体験)やクイズラリーなどを行い、積極的に気運醸成を図った。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

2. 駒沢オリンピック公園総合運動場

【一次評価結果】

資料 4

合計点	一次評価結果
42 点	B

標準点 ※1	評価基準 ※2	評価結果
34 点		B

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体においては、借入金は存在せず、業務の見直しによりようやく黒字化した公的機関であることから問題はないであろう。構成団体は㈱オーエンスについては問題は見られないが、(一社)東京都レクリエーション協会についても黒字化している。但し基本財産は使い果たしているため、今後の経営環境に注視する必要がある。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理 (安全性の確保)	×2	○	(2) 維持保全業務標準仕様書に則り、駒沢建物管理業務仕様書に清掃マニュアル「体育施設等清掃実施方法」を整備しており、水準どおりに適切な対応を行っている。その結果、利用者アンケートにおいて、「清掃状態」の「十分満足」+「まあ満足」の割合は、個人利用で92.6%、専用利用(団体)で96.5%となっている。 (4) 事業計画に基づき各部門責任者を明確にしたうえで人員を配置しているほか、安定した施設の管理運営を行うため、職員を増員して配置している。その結果、利用者アンケートにおいて、「職員の対応」の「十分満足」+「まあ満足」の割合は、個人利用で95.7%、専用利用(団体)で94.4%となっている。
(2) 施設の清掃 (清潔さ)	×1	◎	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	◎	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(1) 個人情報保護規程及びマニュアルを作成している。また全職員向けの研修および確認テストを実施し、個人情報の安全管理措置を適切に実施している。PCセキュリティは3カ月毎に更新し、セキュリティ管理者が訪問し対応している。 (3) 環境により良い電気自動車の作業車両(ターレ)の使用や、太陽光パネルの設置、照明のLED化に取り組んでいる。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 一時滞在施設通信連携訓練や災害時充電スポットの設置訓練等を通じて、災害時の施設提供体制を整備している。また、大規模水害時の広域避難先として葛飾区とのマニュアル整備も進めている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況 (安定的な運営)	×2	○	(2) 指定管理業務毎に会計区分を明確に分けて業務を行っている。また、自主事業や利用者サービス事業はそれぞれ事業毎に仕分けを実施している。なお、日々収入の一覧を作成し、未収金を管理している。 (3) 公園内の各施設で日々、業務日誌が作成されており、また業務日誌には、施設運営担当による備品の安全性を確認するチェック項目が設けられている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	◎	(1) 令和6年度の個人利用者数について、令和5年度から18,810人(約12%)増加した。また、稼働率については、9施設中5施設で90%以上の高い稼働率を維持している。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(4) 令和6年度の施設利用者アンケート調査結果によると、総合評価における「十分満足」と「まあ満足」の割合は、個人利用で97.3%、団体利用で100%であった。イベント実施時のアンケートへの回答率については、令和6年度ランニングクリニックでは32人中32人からの回答、シニアのためのスポーツクリニックでは28人中24人から回答を得るなど、高い回答率を達成しており、利用者からの声を取り入れようとする施設の努力が見受けられる。 (5) 開場時間の繰上・延長要望に柔軟に対応したり、直前割引(割引率50%)を実施している。また、熱中症対策の一環として製氷機を導入する等、利用者サービス向上に向けた取組を実施している。さらに、トレーニングルーム掲示板にご意見とそれへの回答を月に1回掲示しており、利用者の声を受けたフィードバックを実施している。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	○	

※評価： ◎水準を上回る(2点) ○水準どおり(1点) △水準を下回る(0点)

3. 東京武道館

【一次評価結果】

資料4

合計点	一次評価結果
39点	B

標準点 ※1
34点

評価基準 ※2	S	46点以上
	A	43点～45点
	B	30点～42点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体においては、借入金には存在せず、業務の見直しによりようやく黒字化した公的機関であることから問題はないであろう。構成団体は(株)東洋実業については問題は見られないが、(株)ティップネスについては、債務超過状況は続いており懸念は存在する。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(2) 日常清掃では、清掃作業員を館内8エリアに配置して作業を実施している。また、休館日に行う定期清掃では、開館日に清掃できない箇所の清掃作業を実施している。さらに、年間業務計画に基づき、害虫駆除作業を実施している。 (4) 事業計画に基づき、責任者を含む早番及び遅番の人員を適切に配置している。 アルバイト採用時には、研修を実施するとともに、毎月の休館日に行うミーティングにより個々のスキルアップを図っている。年に2回、自主的な社内救命救急訓練及び避難訓練を実施している。また、「接遇対応・マナー基準」の配布や研修を行い、職員の接遇対応向上に努めている。こうした取組により、利用者アンケートにおいて、「職員の対応」の「十分満足」+「まあ満足」の割合は、個人利用で91.5%、専用利用(団体)で95.3%になっている。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	◎	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(1) 個人情報の取扱いについて、事業団は年に1回、全職員に対し研修およびテストを実施し、ティップネスは採用時のほか年2回の研修をアルバイトスタッフを対象に実施している。 (3) 省エネルギー環境配慮への取組として、節水型の洗面の採用、照明の間引き等、電気代が高騰する中でできる限りの取組をしている。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 消防訓練は年2回実施され、また法令に基づく消防設備の点検も行われている。なお、消防訓練結果についてアンケートを取り、全職員で結果を共有している。事業団職員全員が「救命技能認定証」を所有している。ティップネスでは年2回の救命救命講習会を実施しており、MFA受講者(施設長)による講義も行っている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(1) 電気、ガスの使用を削減し、光熱水費高騰の影響を抑えるよう努めている。 (3) 保全物品整理簿により、年1回物品照合を実施している。東京都の備品については物品台帳で管理し、備品シールを貼付して明確に区別している。また、東京都の備品以外は紛失を防ぐため館の名称シールで管理している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	○	(1) 令和6年度の個人利用者数は、1,538人(2.3%)増加した。令和5年度と同水準の高い団体利用稼働率(93.9%)を維持している。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(4) 令和6年度アンケート結果で総合的な満足度(十分満足+まあ満足)は、個人利用者:96.5%、団体利用者:95.5%であった。利用者ニーズを把握する場として利用者懇談会を実施し、懇談会で出された意見や要望については、館側からは理由を添えて回答している。 (7) HP、X、Youtube公式チャンネル、公式LINEを活用し、情報発信・広報活動を積極的に行っている。特にXではスポーツフェスティバルの紹介を芸人にお願し、プレビュー数が増えている。 公式チャンネルを見もらうため、プレビュー数の分析、Youtube公式チャンネルの動画発信の内容が単なる施設紹介だけでなく、剣道の防具の面を通した動画など、体験の目線からの動画とするなど、工夫が見られる。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	◎	
(8) 都の施策への協力等	×2	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

4. 有明テニスの森公園テニス施設

【一次評価結果】

資料 4

合計点	一次評価結果
43 点	A

標準点 ※1	評価基準 ※2	評価結果
34 点		A
	S	46点以上
	B	30点～42点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である東京港埠頭㈱は、平成20年4月解散した財団法人東京港埠頭公社を引き継いだもので、公的事業を多く手掛け、収益力も高く財務的には安定している。(公社)日本テニス事業協会は、公益社団としてほぼ収支均衡の経営をしている。全体として財務上の問題は無いと考えられる。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理 (安全性の確保)	×2	○	(1) 監視体制、設備点検とも従前より整備し、灌水の実施など新たに必要となった項目も追記している。報告書や日報もよくまとまっており、転入職員等にも分かりやすい内容になっている。 (5) 年度当初計画を上回る数のイベントを実施した。ネット等を活用した積極的なプロモーション活動はもとより、テニス以外の団体へのダイレクトメール送付による地道なPRも実施したことにより、計画を上回る多数のイベント(計画29件中40件実施)を開催し、収益の向上につなげている。
(2) 施設の清掃 (清潔さ)	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(1) 個人情報は必要な範囲内で適正な手段により収集し、適切に使用し、個人情報が記載された資料は鍵のかかる書庫に保管している。PCはウイルス対策がなされ、セキュリティーワイヤーが設置されている。 (3) 電力会社の見直しを行い、再生エネルギー100%の事業者との契約準備中である。駐車場に電気自動車充電設備を設置するため、東京都と協議・事務手続きを行い、令和7年度には設計・工事を進める予定である。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(1) 緊急連絡網により、都への連絡体制の整備及び周知が行われている。社内においては全社員にiPhoneを支給して緊急時の連絡体制を整えている。事故や怪我の発生時に、発生状況を迅速かつ正確に都へ報告しており、消防等への通報も迅速に行っている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況 (安定的な運営)	×2	○	(1) 利用増加で、当初の計画より施設利用収入が増収しており、また大規模な修繕等が無く支出も抑えられているため、施設は適切な財務状況で管理運営されている。 (3) 備品の照合を行う際、担当が変わっても一目で分かるように写真を貼付した独自の台帳を作成しており、適切な管理を行っている。また、年1回以上、点検一覧表、台帳、現物の照合を行っている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	◎	(1) 利用人数は令和5年度 578,081名、令和6年度 724,198名で、前年度比146,117名(25%)増加している。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1) 有明の森スポーツフェスタやテニスの日イベントにおいては、プロ選手のテニスクリニックやラケット・シューズの試打会・試履会など様々なプログラムを実施し、令和5年度と比べて参加者が約600人増えるなど大きく盛り上がった。 (7) 2020大会前後の休館前より大会数が増加しており、取組の効果がみられる。また、国内でもいち早くピククルボールの国際大会(Championships 2024 Pickleball Japan)を開催するなど、ニュースポーツを推進する都の施策にも積極的に協力している。 (8) 国際大会実施は有明テニスの森の存在意義の一つであるが、特に、コートサーフェスの測定値がIF基準から外れたことが判明し、国際大会開催が危ぶまれた際に、補修工事を迅速に実施し無事に大会を迎えることができた。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	◎	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る(2点) ○水準どおり(1点) △水準を下回る(0点)

5. 若洲海浜公園ヨット訓練所

【一次評価結果】

資料4

合計点	一次評価結果
38点	B

標準点 ※1	評価基準 ※2	評価結果
34点		B

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である東京港埠頭(株)は、平成20年4月解散した財団法人東京港埠頭公社を引き継いだもので、公的事業を多く手掛け、収益力も高く財務的には安定している。構成企業であるNPO法人マリプレイス東京は4期連続赤字であるとともに、会計基準に従った開示がなされていない。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理 (安全性の確保)	×2	△	(1)空調・換気点検について、維持管理業務等仕様書では、専門業者による点検を行うこととなっているが(月次1回)、それを実施しなかった。 (4)事業計画に基づき、ハーバーマスター(施設長)1名、オフィスマネージャー1名、テクニカルスタッフ3名を適切に配置した。アルバイトにはOJTにより指導・訓練を行っている。
(2) 施設の清掃 (清潔さ)	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(1)令和6年度の情報セキュリティ自主監査を令和6年11月21日に実施し、情報資産の管理、物理的セキュリティ、技術的セキュリティ、人的セキュリティの全ての項目において適切に管理されていることを確認している。 (3)マイボトル推奨のためウォーターサーバーの設置を行っている。環境教室、海上クリーンアップ事業を開催し、環境への関心を高める取組を実施している。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2)若洲地区合同の防災訓練や本社と連携した情報伝達訓練を実施している。また、消防設備点検は年に2回実施している。事業所防災計画の共有や避難訓練のフィードバックにより、スタッフ間での情報共有を図っている。また、職員全員が上級救命技能認定を受講し、更新を行っている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況 (安定的な運営)	×2	○	(2)財務会計システムにおいて部門管理を行い、事業区分の明確化を図っている。また、内部監査計画に基づく社内自主監査を実施するとともに、東京港埠頭(株)については、会計監査人による会計監査を受けている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	○	ヨット教室利用者数は、5・9・10月の荒天による中止が影響して令和5年度より減少となった(令和5年度1,437人→令和6年度1,390人)。冬期のヨット教室は参加者が減少・限定されるため、12～3月の間月1回程度のサブライズデーを設定し、様々なプログラムを取り入れて利用者増を工夫した。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1)スポーツの日記念事業「マリンスポーツ体験」及び「マリンフェスティバル」において、未経験者でも楽しめるような、他では体験できない様々な事業(シーカヤック、SUP体験等のマリンスポーツ、「だれでもヨット体験」、「ヨット乗船会」)を展開し、参加者アンケート結果も好評であった。 利用者ニーズを考慮し、酷暑の時期を避けたり、平日開催予定だったものを土日開催に変更するなど、開催時期を工夫することで、ヨット体験乗船会は定員の約2.5倍、ヨット教室プレ体験講座は定員の4倍、障害者セーリング体験会は定員の約1.4～4倍の参加があった。 (3)「写真撮影等受付」については、利用者から高く評価されており、受付数は令和5年度比で約2倍に増加している。予約方法も、従来は紙で対応していたが、新たにHPでの申請受付を開始した。 (4)「令和6年度デジタルアンケート集計表」の「総合的満足度」の項目についての回答結果(十分満足+まあ満足)は、個人利用者:92.9%、団体利用者:100%であった。アンケート結果における課題の改善状況としては、利用にあたって障害となるスロープに浮遊したゴミの回収を定期的に行い、東京港清掃船と連携し、施設付近の海についてゴミの無いきれいな状況を維持している。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	◎	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	○	

※評価： ◎水準を上回る(2点) ○水準どおり(1点) △水準を下回る(0点)

6. 京王アリーナTOKYO（武蔵野の森総合スポーツプラザ）

【一次評価結果】

資料4

合計点	一次評価結果
46点	S

標準点 ※1	評価基準 ※2	評価結果	
34点		S	46点以上
		A	43点～45点
		B	30点～42点
	C	29点以下	

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である(株)東京スタジアムは黒字化はしたが東京都等地方自治体が主な株主のため、構成団体をどこまでコントロールできるかは疑問がある。(株)京王設備サービス、東京ビジネスサービス(株)のように構成団体の中にも業績が堅調の企業もあるが、(株)東京ドームスポーツのように経営不安があるものもある。今後の光熱水費等の上昇状況が懸念される。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(4)職員研修計画に基づき、施設に関する基本的事項やコンプライアンス、情報セキュリティ、接客等、施設の管理運営や利用者対応に必要な事項に関する研修を実施している。 (5)イベント開催時は施設の職員が主催者運営本部に常駐しすぐに対応できる体制を取っており、他施設では行っていない対応とのことで、施設職員の誠実な対応が継続的な利用につながっている。 また、近年注目を集めているeスポーツイベントを新たに誘致し、新たな利用者層の拡大と認知度向上を図った。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(1)個人情報保護規程を全体会議を通じて周知するとともに、ファイルを所定の場所に設置し職員の閲覧が可能な状態にしている。令和6年度は個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等の発生はない。 (3)地中熱ヒートポンプの取組みは他所でも珍しく、ホームページに掲載して情報を発信している。また、バイオガスの発電エネルギー再利用や産業廃棄物の再資源化等、環境への取組みを継続している。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2)施設で自主的に発災時を想定したマンホールトイレ設置訓練を実施する等、効果的な防災訓練を実施している。また、社員全員が、配属後速やかに普通または上級救命講習を受講している。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	◎	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	◎	(1)収支改善の取組について、電力会社の変更や節電対策の徹底等により、光熱水費は提案時と比較し抑えられている。また、自主的な働きかけにより京王電鉄とのつながりを広げ、ネーミングライツ導入による外部資金の獲得を実現した。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	○	(1)個人利用者数は 令和5年度から令和6年度で約1万人(約5.4%)増加している。メインアリーナ、サブアリーナの稼働率はそれぞれ92.5%、98%である。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1)三鷹市との連携強化により、新たに「星空観望会」を実施する等、スポーツ利用以外での利用者拡大や施設のアピールにつなげている(星空観望会は令和6年度2回実施)。アート関連でも多目的スペースでの窓ガラスアートに加えて、新規でアニマルペーパーマスク作成のワークショップを開催しており、新たな事業を積極的に展開している。 (4)アンケート結果は外部委託の広告代理店で分析を実施しており、客観性が確保され、分析内容も専門性が高くなっている。Kアリーナのオープンによりエンタメ系のイベント数が一時減少したが、上記のアンケート分析を通じて得た知見を活かし、同種の別イベントの誘致に成功した。 (7)Xでは、毎朝、開館時間を確認できるようにしている他、大型イベントに際しては、京王電鉄と連携し実施している臨時停車の情報等を積極的に発信し、利用者が必要とする情報の提供に努めている。またYoutubeを活用したジム・プールのリアルタイムの来館者数オンライン発信を継続し、混雑緩和に資するよう工夫している。 (8)地元3市のうち、今までイベント等での連携がなかった三鷹市においても、令和6年度から星空観望会を開催することで、行政等との連携を深めるだけでなく、JR線沿線にお住まいの方の利用につなげている。また、周辺美術大学と連携して、令和6年度は新規でアニマルペーパーマスク作りのワークショップを開催し利用者に好評を得る等、利用者層を広げる取組をしている。環境対策の取組として、契約会社の見直し等により、大きなアリーナやプールを備える省エネ対策が難しい施設にも関わらず、CO2排出量の削減(令和5年度2,309.7t → 令和6年度955.7t)や、光熱水費の抑制等、確実な効果につながっている。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	◎	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

7. 海の森水上競技場

【一次評価結果】

資料 4

合計点	一次評価結果
44 点	A

標準点 ※1	評価基準 ※2	評価結果
34 点		A
	S	46点以上
	B	30点～42点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
一般財団法人公園財団、(株)協栄については業績は好調であり、日建総業(株)は官公庁を主な顧客として堅実な経営を行っているが、野村不動産ライフ&スポーツ(株)はようやく2年連続の黒字化となった。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理 (安全性の確保)	×2	○	(5)管理運営基準に沿って優先受付の利用対象者を決定した。条例に基づき対象となる大会等の利用料金を減免している。また大会数については、目標大会数30大会に対し、35大会が開催された。カヌースプリントとトライアスロンはアジア圏の国際大会となった。
(2) 施設の清掃 (清潔さ)	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(1)年3回のコンプライアンス研修を実施している。令和6年度は個人情報の漏洩、データの紛失及びウイルス感染事例はない。 (3)東京都が定める再エネ率をクリアした電力会社と契約している(施設で使用されている電力は再エネ率100%)。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2)危機管理マニュアルを整備し、共有サーバー上で職員に共有・周知している。また、防災訓練を年2回実施し、消防設備の点検も適切に行っている。さらに、対象職員は毎年度、救命救急講習等の各種講習会に参加し、認定証の更新も適時行っている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況 (安定的な運営)	×2	◎	(1)大規模音楽フェス等の新規イベントの誘致や事業者の実証実験に係る敷地使用の提供等により、施設利用料収入が大幅に増加した。これらの取り組みにより生じた収入を、ポンツーン清掃委託やウッドデッキ修繕等の施設修繕・工事費に充てるなど、利用者サービス向上に資する取組に還元している。そうした取組を実施しつつも最終的な利益率が12%となっている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	◎	(1) 令和6年度の個人利用者数は、令和5年度から886人(16.4%)増加した。団体利用は令和5年度比で稼働率が16.4%上昇している。大会数については、目標大会数30大会を上回る35大会を開催した。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(5)大会に伴う施設利用料のパッケージ料金の設定や、早朝の練習等の営業時間外の利用対応等、利用者サービス向上に向けた取組を実施している。中国語(2言語)、韓国語、英語版のパンフレットの作成をはじめ、自動翻訳機の配備、サービス介助士の配置、朝礼時の手話練習などをしており、多様な利用者に対応するための環境整備に取り組んでいる。 (8)東京アクアティクスセンターやカヌー・スラロームセンターと連携し、競技団体の宿泊会場として利用者を受け入れており、周辺施設との連携協力により、質の高いサービスの提供が図られている。 eSG先行プロジェクトにおいては、海の森水上競技場を実施場所として提供。施設職員が各種協力するなど、当プロジェクトに大きく貢献している。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る(2点) ○水準どおり(1点) △水準を下回る(0点)

8. 夢の島公園アーチェリー場

【一次評価結果】

資料4

合計点	一次評価結果
38点	B

標準点 ※1
34点

評価基準 ※2	S	46点以上
	A	43点～45点
	B	30点～42点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
主に日比谷花壇グループでの構成であるが、日比谷花壇を除き経営が安定している。

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(1) 夢の島公園全体の設備監視の中でアーチェリー場においても適切に監視を行い、巡回警備でも適切に監視している。年間業務実施計画・報告書、日常清掃と合わせて適切な点検をしている。定期清掃と併せて日々の点検を実施している。 (2) 清掃・巡回作業マニュアル、施設維持管理業務マニュアルを整備している。芝地維持管理基準、年間業務実施計画・報告書に基づき実施している。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(1) 夢の島公園でJISP(内閣サイバーセキュリティセンターのツール。地方公共団体の情報セキュリティに係る緊急情報や団体のセキュリティ向上に係る資料等を情報共有するWebサイト)の利用のほか、第三者によるサイバーセキュリティリスクの評価を実施している。 (3) 管理事務所は新江東清掃工場の余熱エネルギーを使用し暖房・冷房をまかなっている(再生可能エネルギーの利用率は25%程度)。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 夢の島公園全体で消防計画書を策定している。休憩舎にAEDを設置し、誰にでも分かりやすい表示をしている。東京都の一時滞在施設に指定されていないものの、職員向けに必要な備蓄品を備蓄し、整理整頓された状態で適正に管理している。救急救命講習について上級救命技能認定を所持しており、随時更新をしている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(2) 経理は、指定管理業務と自主事業とで明確に区分をしている。利益分配については、毎年度代表企業と構成企業間で分配契約書を交わし明確化している。入金があった際は、入金後経理部に確認を行っており、チェック体制を整えている。 (3) 物品一覧表を作成し、物品の種類・個数等を把握するとともに、年に一回、物品の棚卸しを行い、保管状況(状態・数量等)を適正に管理している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	◎	(1) 令和6年度の大会実績は、選定時提案の大会数、令和5年度実績を上回っている(選定時提案の大会数20大会、令和5年度実績41大会、令和6年度実績47大会)。来場者数も令和5年度を67%上回った。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(2) 計画にはなかったボールパーク、芝すべり、テラノレース等を追加実施している。7月に実施したコンサートの結果を受け、11月はファミリー向けの内容でコンサートを実施するなど、利用者ニーズにあった事業実施に努めている。 (4) 全施設共通のアンケートについて、紙で回答いただいたアンケートを、結果を集計する前に誤って廃棄してしまい、利用者ニーズについて適切に把握することができなかった。 (8) 夢の島マリナーのイベントのスタンプラリーへの協力、夢の島公園との合同イベント開催、テラノレースでのBumb東京スポーツ文化館との連携等、近隣施設との連携協力によるサービス向上に積極的に取り組んでいる。
(2) 自主事業の実施状況	×2	◎	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	△	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

管理状況

事業効果

9. カヌー・スラロームセンター

【一次評価結果】

資料4

合計点	一次評価結果
46 点	S

標準点 ※1	評価基準 ※2	得点
34 点	S	46点以上
	A	43点～45点
	B	30点～42点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について

代表団体である(株)協栄は、民間及び公的施設について、スポーツ施設等を中心に長年管理している実績を有し、東京都スポーツ推進企業にも認定されている（認定番号20150076）。財務的にも、無借金会社として安定的に運営されており、問題は検出されていない。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(2) 定期清掃や、換水作業を計画通りに実施しており、施設やコース内を清潔な状態に保っている。加えて、清掃講習を行い、スタッフの清掃技術と知識の向上に努めている。その結果、利用者アンケートにおいて、「清掃状態」の「十分満足」+「まあ満足」の割合は、100%である。 (4) 利用者アンケート結果において、「職員の対応」の「十分満足」+「まあ満足」の割合は、個人利用で100%、専用利用（団体）で95.6%である。上級救命技能認定、普通救命技能認定、上級体育施設管理士など個人別に「教育・資格記録」を作成し、専門性教育を重視している。 (5) 競技コースについては、利用を集約することで、空き時間を有効的に利用している。他の施設に関しても、調整の付くものに関しては当日まで受け入れを行い、利用者のニーズに答えられるように柔軟に対応している。TV番組や他メディアのロケ収録や撮影などの相談は引き続き増加しており、それに伴い営業時間外での利用や、今までに無い撮影内容の要望も増えているが、都度打合せを行い可能な範囲で柔軟に対応を行っている。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	◎	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	◎	
(5) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 水道使用量と電気使用量について、水道使用量は、昨年度比較で7月：3,118→1,630㎡(△1,488)、8月：3,391→2,543㎡(△843)、電気使用量は、昨年度比較で7月：250,336→206,511kwh(△43,825)、8月：295,213→227,014kwh(△68,199)となり、使用量の多い夏場全体で削減するなど、施設を効率的に運営している。 消耗事務用品を中心にグリーン購入を実施し、職員の服装の一部には環境保護をブランドポリシーとして掲げるPatagonia製や海洋プラスチックごみを原料に製品を製造するMarib Shirts製を採用している。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 事故、事件、災害など様々なケースに応じた詳細な対応マニュアルを策定している。気象情報サービス「MICATA」を導入し、正確な情報収集に努めたり、他現場の事故事例を職員間で共有する等、未然の事故防止のための対応を行っている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(2) 経理状況は明確になっている。仕訳日記帳は現場、本社、会計担当の3者でチェックし、計上誤りを防ぐ形となっており、適切に管理している。 (3) 備品の安全性については、月に一度、状態の確認を行っている。また、点検項目に含まれていない設備についても日常的にスタッフが目視点検し、損傷などを発見次第、業者に依頼し交換作業を進めている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	◎	(1) 令和6年度の個人利用者数は、令和5年度から約6,500人(約20%)増加した。団体利用状況については、令和5年度比で施設全体の稼働率が増加しており、特に競技コースは令和5年度比8.2%増加した。 大会数については、目標大会数上回る8大会が開催された。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(3) 低年齢でも楽しめる事業として、新事業「カヌスラパーク」を開催し、陸域も活用して新規顧客の獲得に努めている。利用者アンケート調査や利用者懇談会を実施しており、利用者ニーズを踏まえて、適切に事業の改善・見直しを図っている。 (7) 積極的な広報を行った。特に江戸川区に協力を要請し、江戸川区の小中学生に2万枚ちらしを配布したことは効果があり、SNSのフォロワーが1500人→2100人に600人増加した。ロケ誘致を増加させるべく専門家に相談しており、令和6年度のロケ実績はテレビ5件、ウェブ3件、新聞雑誌2件、フリーペーパー1件であった。各種SNSも活用しており、イベント時にはInstagramの機能「ストーリーズ」を使って当日の様子を配信する等、リアルタイムの情報発信も行っている。 (8) 葛西臨海公園及び海浜公園と連携したBBQ場との連携プログラム「ラフティングツアー×手ぶらBBQセットプラン」は引き続き実施し、好評を得ている。都の重点施策であるチルドレンファーストに関連する事業として、水難事故防止イベントを実施した。主に小学生～中学生の親子を対象とし、水難事故が増える夏休み直前の7月に開催した。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	◎	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	◎	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

10. 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場

【一次評価結果】

資料4

合計点	一次評価結果
39点	B

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	46点以上
34点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
主に日比谷花壇グループでの構成であり、経営は安定化し、借入金の負担がないものも多く、特に問題は見られない。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(2) 植栽管理は計画に基づき実施したほか、状況に応じて草刈りや人工芝メンテナンス、落ち葉清掃の回数を増やした。 (3) 令和6年度新たに初級バラスポーツ指導員(令和6年度新たに2名取得、計3名取得済み)、スポーツ施設管理士、スポーツ施設運営士の資格を取得した。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 令和6年度2月より電力を100%再生エネルギーの会社に切り替えた。また植栽管理では、従来化石燃料を使っていた機械類の電動化を進めた。物品購入の際は東京都グリーン購入ガイドに基づき調達している。 (4) 関連法令をまとめてファイリングし、必要な時にすぐ閲覧できるようにしている。令和6年度は重大な法令違反の事実はない。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 災害発生時の連絡体制を確立しており、緊急時対応マニュアルをすぐに参照できるように配備し、緊急連絡網も用意している。施設内避難誘導路を整備し、また、メインピッチ、サブピッチにそれぞれ1台ずつAEDを設置している。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	◎	(1) 電気の最大使用容量を検証し、電気の基本料金の見直しを図ったことで光熱水費を削減している。人工芝の維持管理や植栽管理、多目的コートの散水作業等、自前で多くの作業を行い、経費削減に努めている。利用者との関係構築により、定期的に利用いただく団体が増え、年間利用者数は令和5年度比で約34%増加している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	◎	(1) ホッケーの大会数について、23大会の目標に対し、27大会の開催ができています。その他、ラクロス、タッチラグビー、フラッグフットボールの大会を18大会開催し、計47大会の開催ができています。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(5) ラクロス東日本クラブ選手権大会決勝戦に合わせてラクロスゴールのネットを購入、車椅子を配備する等、利用者サービス向上に向けた取組みを実施している。 (6) 苦情に対する対応策を適切に検討し、改善に向けた取組を実施している。具体的には、イベント開催時の音への苦情対策として、イベント主催者との事前に打合せを行っている。備品の戻し場所に関する苦情への対応として、備品戻し場所の掲示方法の見直しを行った。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

1.1. 東京アクアティクスセンター

【一次評価結果】

資料 4

合計点	一次評価結果
42 点	B

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	46点以上
34 点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である（公財）東京都スポーツ文化事業団は、黒字化し、公益財団として収益源が確実に確保されており比較的安定的に運営され、（公財）東京都水泳協会も同様である。（株）オーエンスの経営成績は好調であるが、セントラルスポーツ(株)は業界全体の経営悪化の中でも堅実な業績を維持した。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(3)維持管理業務等仕様書及び警備実施要領に基づき、日中2名、夜間2名で24時間常駐し定期巡回を実施している。日常巡回は、「巡回リスト」により館内及び外周の巡回を実施し、危険箇所の安全チェック、不審者の発見や事故の予防等に努めている。 (4)利用者アンケート結果において、「職員の対応」の「十分満足」+「まあ満足」の割合は、個人利用で91.4%、専用利用(団体)で92%である。管理運営基準に基づき、研修計画を策定し、個人情報保護研修、救命救急に関する研修、障害者スポーツ研修等を実施した。また、デフリンピックに向け、聴覚障害者支援研修や、手話講座を令和6年11月に実施しており、当施設の利用状況に沿った独自の研修を行っている。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	◎	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3)夜間の電力負荷及び熱源負荷が少ない為、夜間のコージェネレーションシステム運転を停止、冷温水発生機・地中熱チャラーを状況により夜間停止するなど、エネルギー使用量の削減に努めている。令和6年度は、令和5年度比▲288.337kWh(約7%)削減した。また、令和6年度より施設設計者との意見交換を進めるなど、更なる省エネルギーへ向けた取り組みを進めている。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2)当施設は「一時滞在施設」に指定されていることから、平常時から連絡体制、備蓄品の配備、東京都総合防災部による情報連携訓練等を行っている。スタッフは救命技能認定を取得しており、定期的に東京消防庁等による講習を受講し、万一の事態に備えている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(1)施設利用料収入について、令和5年度はオリンピック予選などの大型大会収入があったが、令和6年度は無かったため、令和6年度収入は、前年度比で減少したものの、収入総額については自主事業などの繰入を大幅に増やしたことで前年度並みになっている。 (2)令和6年度より、事業団施設間での相互検査を開始するなど相互牽制を実施し、他施設間の取組を取り入れる体制を構築しており、チェック体制強化のための工夫がみられる。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	◎	(1)令和6年度個人利用人数は令和5年度を5,175人(約17.5%)上回っている。団体利用状況については、団体利用コマ数及び稼働率が令和5年度実績と概ね同じであった。令和6年度の実施大会数が令和5年度より3大会多い85大会だった。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(3)キッチンカーや売店では、様々なメニュー(タコライス、クレープ、うどん、かき氷、ホットドッグ等々)の事業者を交替で出店させることにより、多様な利用者ニーズに対応している。キッチンカー延べ出店台数(4月~1月)97台、簡易販売延べ出店数(4月~1月)55店である。 また、駐車場収入は令和5年度対比で5%伸びている。 (5)夏休み期間は開館時間を早める等、利用者サービス向上に向けた取組を実施している。デジタルサイネージに本日の最終退館時間を大きく掲示する等、掲示や案内表示のわかりやすさ向上のための工夫をしている。令和5年度指定管理評価に基づき、館外の案内表示の見直し実施し、公園管理者と調整して改善した。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	◎	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

12. 東京都パラスポーツトレーニングセンター

【一次評価結果】

資料4

合計点	一次評価結果
35点	B

標準点 ※1
34点

評価基準 ※2	S	46点以上
	A	43点～45点
	B	30点～42点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である(公社)東京都障害者スポーツ協会は、公益社団として比較的安定的に運営されているが、今期は僅少の赤字となった。構成企業である(株)東京スタジアムは赤字企業であるが自治体等の出資により設立されたものであるため、財務上の懸念は小さい。

管理状況	適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 施設・設備の適切な管理 (安全性の確保)	×2	○	(4) 管理運営基準に則り、総括責任者を配置し、トレーニング室は常時、業務従事者を2箇所配置している。業務従事者は20歳以上であり体育系大学(短大を含む。)若しくは体育専門学校を卒業(卒業見込を含む。)している者、又はトレーナー業務に関し専門的な知識と技術及び顕著な業務歴を有している者を配置している。 (5) 令和6年度は6月より東京都スポーツ施設予約システムが導入されたため、予約システムのスムーズな導入のため、利用団体向けに操作説明会を複数回開催したほか、操作マニュアルの作成・配布を行っている。
	(2) 施設の清掃 (清潔さ)	×1	○	
	(3) 施設の警備	×1	○	
	(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
	(5) 施設の提供について	×1	◎	
	法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 事務室内の未使用エリアや利用していない施設などは消灯し、シャワーの給湯器についても利用者がいるときのみつけている。障害により体温調節ができない利用者もいるため、空調の設定温度は利用者に合わせて設定をしている。 (4) 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会において規程集を策定し、組織・人事・給与・財務・福利厚生等運営に必要な法令規程等はすべて整備しており、これを遵守し運営している。
	(2) 情報公開の取組	×1	○	
	(3) 環境配慮への取組	×1	○	
	(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
	緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 安否確認サービスに登録し、災害発生時に各自の安否確認をクラウド上で確認できるシステムを導入している。防災訓練にあたっては、当施設独自で行う訓練に加え、味の素スタジアムと合同での消防訓練も行っている。
	(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
	(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容	
(1) 収支状況 (安定的な運営)	×2	○	(2) 経理処理は、協会の財務会計規程に基づき明確な責任者体制のもと適正に処理している。また、税理士に依頼し、内部監査、及び日常的に指導を受けられる体制の整備を行っている。 (3) 貸与備品と調達備品を区別し、適切に管理している。トレーニング室の物品については、業者による年1回の点検に加え、開館時と閉館時に適宜確認している。その他貸与備品については、使用終了後に点検し、良好な状態を保っている。	
(2) 経理処理	×1	○		
(3) 物品の管理	×1	○		

事業効果	利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
	(1) 利用状況	×2	○	(1) 令和6年度の個人利用者数は令和5年度から約300人(約20%)の増加となった。従来からの利用者の利用頻度の上昇や、無料開放デー等を契機とした新規利用者の獲得が要因となっている。 団体利用状況について、体育室は稼働率が令和5年度49.8%から令和6年度67.6%となった。
	事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
	(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1) 障害のある人が取り組みやすく、多くの人が楽しめる卓球教室やバドミントン教室、ヒップホップダンス教室をパラスポーツ団体、地域のクラブの協力を得ながら実施している。 (4) 利用者懇談会は未実施である。 (7) HPでの周知の他、指定管理団体の発行する季刊誌及びコンソーシアムを組んでいる東京スタジアムの発行する情報誌への情報掲載、PRチラシを作成し近隣施設での配架や配布など、積極的に情報発信に取り組んでいる。また、事業及び重要なお知らせの周知については、HPだけではなくSNSを活用してリアルタイムでの情報発信を行っている。
	(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
	(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
	(4) 利用者ニーズの把握	×2	△	
	(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
	(6) 苦情等への対応	×1	○	
	(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	○		

※評価： ◎水準を上回る(2点) ○水準どおり(1点) △水準を下回る(0点)

13. 東京都障害者総合スポーツセンター

【一次評価結果】

資料4

合計点	一次評価結果
37点	B

標準点 ※1
32点

評価基準 ※2	S	43点以上
	A	40点～42点
	B	29点～39点
	C	28点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である（公社）東京都障害者スポーツ協会は、公益社団として安定的に運営されているが、今期は赤字となっている。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(1) 故障や不具合が発生した場合は利用者の安全を第一に考え、速やかに、可能な範囲で修理・修繕等を行い利用に支障が無いよう対応している。 (4) パラスポーツ指導員（初級・中級・上級・スポーツコーチ）及び健康運動指導士、介護予防運動指導員等の有資格者を配置している。職員がセンター運営に必要な資格を取得するにあたっては、当協会の職員資格取得助成制度の活用を図っている。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 電気の需給業者を令和4年度より再生可能エネルギー供給者に変更し、以降再生可能エネルギー100%（都からの要請は30%以上）を上回る運用を続けている。また日々の施設管理では、館内の電球の一部をLED電球で対応することで、館内節電に努め、館内シャワーヘッドをすべて節水型にすることで節水に努めている。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 安否確認システムを導入し、災害発生の際に、安否確認メールを職員に送り職員の安否確認をしている。東日本大震災を教訓とし、災害活動相互応援協定を結んでいる近隣施設と合同で大地震を想定した総合訓練を実施している。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(2) 経理処理のチェック体制については協会の財務会計規程に基づき明確な責任体制のもと適正に処理している。また、税理士に依頼し、内部監査、及び日常的に指導を受けられる体制の整備を行っている。 (3) 物品取扱責任者を設置し、物品を常に良好な状態で維持・保全するとともに、施設の運営を円滑に行うため、保全物品・購入物品・取得物品に区分した物品一覧表等を備え、常に数量・使用場所・使用状況等の把握をしている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	◎	(1) 令和6年度の個人利用者数は令和5年度より約20,000人（約24%）増加している。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1) 相談事業について、運動相談は令和5年度143名のところ、令和6年度154名と増加している。これは、新規登録者に向けて利用促進を図ったことによる。 また、令和6年度新規事業「パラスポーツトレーナーによる運動相談」は年間12枠を確保し、予約率は100%となった。本事業については令和5年度はアスリートを対象として実施をしていたが、令和6年度は競技実施者ではないセンター利用者へ対象を拡大したことによる。正しい身体の使い方や身体づくりを学び、日頃のトレーニングの見直しを図る機会を創出している。 (5) 医師や理学療法士、管理栄養士による相談事業、リモート教室や地域交流教室を開催する等、利用者サービス向上に向けた取組を実施している。
(2) 自主事業の実施状況	×2	-	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

1 4. 東京都多摩障害者スポーツセンター

【一次評価結果】

資料 4

合計点	一次評価結果
41 点	A

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	43点以上
32 点		A	40点～42点
		B	29点～39点
		C	28点以下

※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
 ※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
 「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
 「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
 「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である（公社）東京都障害者スポーツ協会は、公益社団として安定的に運営されているが、今期は赤字となっている。

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(4)トレーニング室においては、正規職員又は契約職員を1名以上配置し、技術指導等、利用者の障害特性に合わせサポートしている。体育館、卓球室、サウンドテーブルテニス室においては、個人でも利用できるようヒッティングパートナーとしてスポーツ支援スタッフが対応をしている。 (5)3か月前からの団体利用の予約受付、団体キャンセル時には施設を個人利用に開放している。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	△	(1)令和6年4月21日に個人情報インシデント事案が発生した。発生後、速やかに対応を行い外部への流出はなかった。再発防止として、システムの改修（メール送信時のセルフチェックリスト機能を増設）および全職員対象のコンプライアンス研修を実施した。 (3)全館照明のLED化、太陽光発電設備の設置と発電量の館内表示、利用状況に応じた消灯の実施、100%再生エネルギーの電力事業者の選定・電力契約など、環境に一層配慮した取組をしている。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2)多摩支所との合同総合防災訓練を11月29日に例年通り実施した。また、令和6年度新たに、11月20日に宿泊時対応訓練を実施し、委託業者（警備、設備）も入れて、より実践的なものとした。令和6年度より新たに導入したPHSを活用した連絡体制や方法の確認など、効果的かつ効率的な訓練を実施した。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	◎	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(1)指定管理料の執行については、効率的な運営により年度計画通り執行している。赤字にならぬよう執行管理を行っている。収支赤字はこれまでない。 (3)物品の使用にあたっては、使用・設置方法を熟知するとともに、年1回の点検・状態の把握等を徹底し、利用者が安心して使用できるよう、各スポーツ施設単位で定期的な棚卸点検を実施している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	◎	(1)令和6年度の個人利用者数は92,298人となり、令和5年度から26.1%増加している。また、令和6年度新規登録者数については、令和5年度を上回っており、新規登録者数は528名である。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1)利用者数のデータを活用し、客観的なデータに基づき効果的に事業を実施している。具体的には、曜日別、時間帯別、年齢別、障害者別の利用者数を統計として抽出した上で、参加者がさらに増える曜日・時間帯に変更し、その効果で教室受講者が定員越えをしている事業が増えた。また、月ごとに曜日別、時間帯別の利用状況を抽出し、利用状況を分析することで、次の計画に生かしている。客観的なデータをもとにPDCAを回し、改善を積極的に図っている。 (5)様々な立場の利用者が利用しやすい環境整備として、「家族更衣室・多目的トイレ・家族風呂」の名称を「バリアフリー更衣室・バリアフリートイレ・バリアフリー風呂」に変更した。案内掲示の漢字にルビを振り、ビクトグラム矢印等の記号やイラストを用いて表示したことにより、案内表示の分かりやすさを向上させた。 (8)「出かけようパラカヌー教室」を日本パラカヌー連盟の協力のもと江戸川区新左近川親水公園カヌー場で実施、小金井公園・東京たてもの園と連携しクイズを用意しながら楽しく歩けるアウトドア「TAMAウォーク」を実施した。 2025年デフリンピック開催にあたっては、令和6年12月8日開催の「障害者週間記念事業」においてスタートランプ体験や国際手話体験を実施し、デフリンピックの積極的なPRに努めた。
(2) 自主事業の実施状況	×2	-	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）